



丸子中央小だより

夢は羽ばたく

令和7年度 第8号
2025. 12. 25
上田市立丸子中央小学校

無事に85日間の2学期が終了しました。

85日間にわたる2学期が、本日無事に終了いたしました。日々の学習やさまざまな行事を通して、子どもたちは大きく成長することができました。終業式では、代表児童が2学期に頑張ったことを堂々と発表し、その姿からも子どもたちの確かな成長が感じられました。ぜひ、この学期に培った力や頑張りを、3学期へとつなげていってほしいと思います。

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。引き続き、3学期もどうぞよろしくお願いいたします。

～2学期終業式 校長講話～

2学期は登校日数、学校に来る日が85日ありました。この2学期、みなさんの心に残っていることはなんですか？おとなりさんや近くの友だちと紹介し合いましょう。では、どうぞ。（30秒程度、時間をとりました）1，2年生には遠足がありました。3，4年生には社会見学、5年生には高原学習、6年生には修学旅行がありました。全校では音楽会、金管バンドや合唱クラブでは様々なコンクールやコンサートがありました。こういった行事だけではなく、毎日の生活のちょっとしたことが、思い出になっている人もいることでしょう。では、どうして、こういった行事や何気ない学校生活が思い出に残るのでしょうか。答えは、そこには必ず、友だちや仲間がいてくれたからだと思います。友だちや仲間といっぱいお話をしたり、いっぱい笑ったり、いっぱい遊んだり、時には相談にのってもらったり、時には励ましてもらったりして、助けてもらったことでしょう。そういった友だちや仲間といっしょに過ごせたから、大切な思い出に残っているのだと思います。そんな大切な友だちや仲間に、心から「ありがとう」の気持ちを持ってください。もし、直接、言うことができるのであれば、その方が相手もうれしいと思います。がんばってみましょう。

この2学期、毎日の授業や友だち・仲間とのかかわり、音楽会などの行事を通して、みなさんはたくさん成長してくれました。担任以外の先生方も、みなさんの成長を見つけてくださっています。それらを紹介します。

- ・朝、自分から「おはようございます」とあいさつをしてくれる子が増えています。教室に入るときあいさつも爽やかで、いい雰囲気をつくってくれています。
- ・そうじの後、ボツンと残されているバケツを見つけて、自分の分担ではないのに片付けてくれる子がいました。
- ・放送が忘れずに時間通りに鳴ったり、給食の片付けが静かに行われたり・・・と毎日の自分の役割が当たり前になり、しっかりとできる子たちがたくさんいます。
- ・授業の中でたくさんの発見ができました。自分からじっくり見て、じっくり調べて、自分の言葉で学習カードにたくさん書くことができました。
- ・そうじの放送が流れる前に、バケツに水を入れ、すばやくそうじを始めています。そうきの使い方・かけ方もすばらしいです。ひざをついて力を入れて、丁寧にふいています。
- ・苦手な教科にも自分なりに努力ができるようになっていきます。
- ・友達に対して、「ダメだよ」という強い話し方よりも、「大丈夫」「いいんだよ」という温かい言葉かけが多くなってきました。
- ・お休みしている友だちの当番を自分から代わってくれる優しい子が多いです。

こんなに成長したみなさん、いいところいっぱいの方に、校長先生は心から、ありがとう！よくがんばった！うれしい！と拍手を送りたい気持ちでいっぱいです。

さて、あと7日で、2025年が終わります。令和7年という呼び方のほうが、たくさん使っていたかもしれませんね。日本には、〇〇どしという言い方もあります。この〇〇には、ある動物が入りますが、今年は、何どしだったか知っていますか？正解は、へび・・・へびどし、昔の言い方だとみ年でした。来年の令和8年は、うま年です。この〇〇どしは、この絵にある12の動物や生きものが使われ、順番通りに何度も何度もくりかえされます。知っている人もいます、1番から12番を順番に紹介します。みなさんが知っている動物の名前と、違う呼び方 もありますからね。

1番は「ね」、ねずみの「ね」、「うし」、「とら」、「う」、うさぎの「う」、「たつ」、たつは「りゅう」、「み」はへび、「うま」、「ひつじ」、「さる」、「とり」、このとりは「にわとり」のことです。「いぬ」、「い」、いのししの「い」。それでは、もう一度、1番から順番に言ってみましょう。校長先生のあとに続いてお願いします。「ね」、ねずみの「ね」、「うし」、「とら」、「う」、うさぎの「う」、「たつ」、たつは「りゅう」、「み」はへび、「うま」、「ひつじ」、「さる」、「とり」、このとりは「にわとり」のことです。「いぬ」、「い」、いのししの「い」。

校長先生は、とり年に生まれました。みなさんやみなさんの家族は何どし生まれか、お家の人に聞いてみましょう。それでは、校長先生からみなさんへの冬休みの宿題です。この 〇〇どしを順番通りにおぼえてきてください。忘れてしまったら、お父さん・お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんに聞いてみましょう。3学期の始業式のときに、また、みんなで言いたいと思います。

さて、明日から1月7日まで、13日間の冬休みです。冬休みに守ってほしい5つのことを、ふ・ゆ・や・す・み から始まる言葉で紹介します。

冬休みの ふ・・・ ふしんしゃに気を付けよう。
ゆ・・・ ゆだんしないで手洗い・うがいをしよう
や・・・ やめよう、危険な遊び、ゲームのやりすぎ
す・・・ すすんで、元気にあいさつをしよう
み・・・ みんな元気にしぎょうしきで会いましょう

1月8日、元気に笑顔で登校してくれることを楽しみにしています。よいお年をお迎えください。これで終わります。

～2学期終業式 代表児童の発表より～

「2学期を振り返って」

5年1組 代表児童

2学期を振り返って心に残っていることが2つあります。

1つ目は、音楽会です。合奏の『ライラック』は いろんなパートで合わせ、きれいに弾けるように頑張りました。流行りの曲だからというのもあり、すごく難しく、みんなで苦戦しました。でも、力を合わせてできていたと思います。合唱の『かぜの道しるべ』はハーモニーを意識して、精一杯歌いました。他の学年もすごくきれいに歌えたり弾けたりしていていいなと思いました。

2つ目は、宿泊学習です。自分たちでご飯を作るので飯盒炊爨の練習もしました。最初はどうできるか不安だったけれど、上手にできていてよかったです。烏帽子岳に登るのはすごく疲れたけれど、仲間と協力し合って頂上まで登り切りました。頂上から景色を見ながらお昼ご飯も食べてすごく美味しかったです。湯の丸ホテルでも友達と一緒に寝たり遊んだりできてすごくいい思い出になりました。

3学期の46日間を終えると、最高学年になります。3学期は5年生から最高学年に変わる準備を整えていく時間だと思います。5年生の私にできることを考えながら、低学年の見本になり、丸子中央小学校を笑顔で一杯にしたいです。

2学期を通して、自分にとって成長したことは諦めないことです。

今までは、「できない」「まあいいや」という心がありました。けれど、諦めずに取り組んで、分かったことがたくさんありました。

私は、体育の跳び箱がうまくいなくて、落ち込んでいました。その時に、友だちに「次はいけるよ」と声をかけてもらい、元気をもらいました。苦手な体育でも、「すごいね!」「前よりとべてるじゃん」などの声を聞いて、私は、「こんなに友達も褒めてくれてるんだ。こんなところで諦められないな」という気持ちになりました。そして、落ち込んでいた気持ちがふわっと軽くなりました。

それから私は、体育ではない授業でも諦めずに取り組みました。そうしたら授業でも分かったことがたくさんありました。私はできるかもしれないのにそこで諦めてはいけないなと思うようになりました。私がこんな姿になれたのは友だちのおかげだと思います。

これから冬休みになり、そして、3学期になります。これからも色々な思い出がたくさんできると思います。その思い出を増やし、自分の心の中に残したいです。

写真で2学期を振り返ります



二年生はバス・電車に乗って懐古園に行きました。自分で切符を購入し、車窓からの景色を楽しみました。動物園や遊園地で友だちとたくさん遊び、楽しい一日となりました。



一年生は、生活科遠足に行きました。おいしいお弁当をみんなで食べ、公園の遊具で遊んだりおにごっこをしたりして楽しく過ごしました。

四年生は、長野市に行きました。県庁や善光寺、善光寺の参道などの見学を一日かけて行いました。担当の方の話をよく聞いて、沢山のメモを撮るなど充実した学習になりました。



三年生は、消防署や市役所、警察署など社会見学を通して多くのことを学びました。消防署では、消防服を切る体験や消防車の仕組みを見せていただき、とても貴重な機会となりました。



六年生は、修学旅行で東京方面に行きました。自分たちでたてた修学旅行のめあてを達成するために、友だちと協力し、助け合いながら活動に取り組むことができました。笑顔が多く見られた二日間となりました。



五年生は、湯ノ丸高原へ宿泊学習に行きました。飯盒炊爨やキャンプファイヤーでは、任された仕事をしっかりと行ったり、烏帽子岳登山では自然の美しさを五感で味わったりなど思い出に残る楽しい行事になりました。

「まるっこ応援隊 感謝の会」を行いました。

日頃から大変お世話になっているまるっこ応援隊の方々への感謝の会（11月12日）を行いました。まるっこ応援隊の皆様には、登下校の見守りや本の読み聞かせ、コミュニティールームに畑、クラブ活動、学習支援など多くの面でお支えいただいています。子どもたちは日々の温かな声かけにも励まされており、その存在の大きさを改めて感じる機会となりました。



この会では、学年代表の子ども達からお礼の気持ちを伝えさせていただき、最後に全校で感謝の気持ちを込めて、校歌を斉唱しました。まるっこ応援隊の方よりお礼のご挨拶もいただき、とても良い感謝の会になりました。地域の皆様に支えられていることを実感した時間となりました。

なかよし月間～ふわふわ言葉いっぱい丸子中央小学校にしよう～

11月は「なかよし月間」でした。「ふわふわ言葉いっぱいの丸子中央小学校にしよう」を目標に、子どもたちはさまざまな活動に取り組みました。ふわふわ言葉チャレンジやなかよし標語づくり、児童会主催のなかよし集会などを通して、友だちのよさや、人と関わることの大切さを感じる機会となりました。また、授業の中でも、自分や相手を大切にする気持ちや、相手の思いに寄り添う姿を育てるため、人権教育や道徳の学習を進めました。

校長講話では、「笑顔には自分だけでなく周囲の人を幸せにする力があること」や、「嫌な言葉や行動は、心にしわや傷を残してしまうこと」が示され、友だちを笑顔にする“ふわふわ言葉”を積極的に使ってほしいとの話がありました。

さらに、PTA主催の人権教育講演会では、「特定非営利活動法人 子ども・人権・エンパワメント CAP ながの」より2名の講師をお迎えし、「子どもが『自分は大切』と思える大人のかかわり」をテーマに講演が行われました。ワークショップ形式で進められ、参加者同士が意見を交わしながら、子どもが「自分は大切にされている」と実感できる関わり方について考え合う時間となりました。日頃の関わりを振り返り、ご家庭でも生かしていただける学びが多くあったことと思います。

今後も保護者の皆様と連携しながらより一層充実した人権教育の推進に努めてまいります。



【人権講演会】



【校長講話】



【人権教育 授業参観】

《冬休み中の連絡について》

○事故や大けが、入院等にかかわる連絡は、学校または市役所へお願いします。

| | |
|---|---|
| ★学校へ連絡 42-2112 12/26 1/5～7 ★市役所へ連絡 22-4100（代表） 12/27～1/4 | 市役所へ連絡した場合、市役所より学校関係者に連絡が入ります。その後、保護者の方に、学校よりお電話をする場合があります。予めご了承ください。 |
|---|---|